

水藤 昌彦 MIZUTO Masahiko

研究分野：司法福祉、刑事政策、犯罪学

キーワード：社会的排除と犯罪、障害と犯罪、犯罪からの離脱、施設内処遇と社会内処遇、オーストラリア比較法研究



研究トピックス：

刑事司法と社会福祉の連携論

知的障害・発達障害のある犯罪行為者への支援と社会復帰支援のあり方

刑事司法領域におけるソーシャルワークの国際比較

研究の要旨：

刑事司法と社会福祉の連携を中心に据え、特に知的障害や発達障害を有する犯罪行為者の支援実践と制度的課題の解明に取り組んでいます。矯正施設からの釈放後の地域生活移行支援、フォローアップ支援や認知行動療法を基盤とした心理教育プログラムなど、多様な支援の実態と効果を質的・量的に分析し、対人援助専門職が刑事司法プロセスの中で果たす役割の理論的基盤を構築しています。

並行して、刑事司法領域におけるソーシャルワークの制度・実践の国際比較を通じて、日本の司法福祉の現状と他国実践からの示唆を明らかにし、政策・実務への示唆の具現化を目指しています。

主な関連業績：

水藤昌彦「総論 2022年刑法等改正と刑事施設におけるソーシャルワーク」社会福祉研究 151号（2024年）23-34頁。

水藤昌彦「知的障害のある犯罪行為者の社会復帰の現状と課題：地域生活定着支援センターの活動を中心の一特集 刑事司法と「アウトサイダー」：非法曹専門職との連携のあり方を考える」法律時報 96巻3号（2024年）36-40頁。

山崎康一郎・我藤諭・水藤昌彦・佐々木茜「生活支援を基盤とした認知行動療法による関係性構築に関する質的研究」司法福祉研究 23号（2023年）71-89頁。

[教員紹介へのリンク](#)

[教員データベースへのリンク](#)